

有田内山グランドデザインの趣旨

過疎化の抑制

直近10年間の人口動向は、少子化も相まって人口減少に拍車がかかっている状況です。特に内山地区は、人口減少及び高齢化の割合が極めて高く、過疎化が進行していると言っても決して過言ではありません。

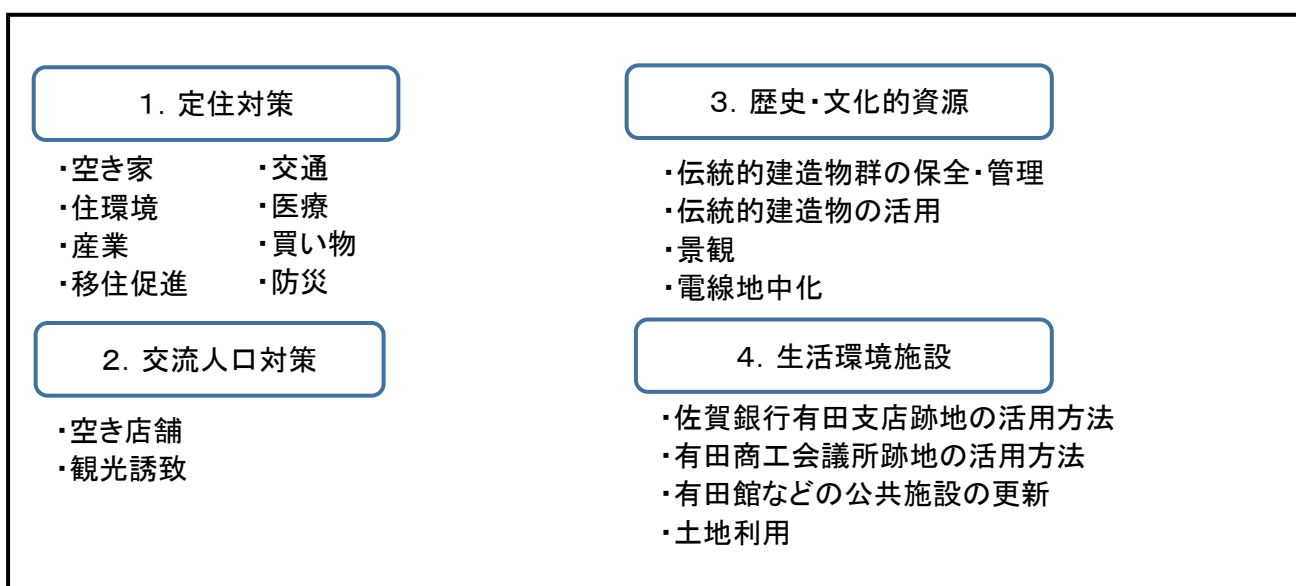
市街地の活性化

社会構造の変化により、店舗の集約化、駐車場不足、IT社会化などの要因によって、店舗の廃業や移転が進展し、商店街の空洞化が地域の問題となっています。

都市景観の形成

伝統的建造物群保存地区は町並そのものを文化財として捉え、その保護及び維持を図ってその価値を損なうことなく、将来世代に伝えようとするものです。有田らしい都市景観を守り、育て、つくり、もってわたしたちのまち有田を、町民一人一人にとって、親しみと愛着と誇りあるものとしします。

■内山地区が抱える重点課題



有田内山のまちづくりに求められる視点

■課題の解決に向けたまちづくりビジョン

地域の賑わいや活力が衰退していく中で、課題を克服し、減退の流れを抑えることによる、まちの再生が重要となっています。有田内山のまちづくりに関して、直面している課題の解決に向けて、行政、地域、各種団体(企業・大学等)、町民が連携して取り組む方向性(ビジョン)が求められています。

■有田内山グランドデザイン検討部会

地元の若手や中堅、10名程度により構成され、オープンな場で、地域の課題やその解決策について議論します。そこで見いだされた課題やアイデアを検討委員会に提案します。

〈ファシリテーター〉原田祐馬 〈調整役〉浜野貴晴